

出生数、死亡数、婚姻・離婚件数等の前年比較（全国）

	実 数			率 1)		平均発生間隔	
	平成29年	平成28年	対前年増減	平成29年	平成28年	平成29年	平成28年
						分 秒	分 秒
出 生	946,065	976,978	-30,913	7.6	7.8	33"	32"
男	484,449	501,880	-17,431	8.0	8.2	1'05"	1'03"
女	461,616	475,098	-13,482	7.2	7.4	1'08"	1'07"
死 亡	1,340,397	1,307,748	32,649	10.8	10.5	24"	24"
男	690,683	674,733	15,950	11.4	11.1	46"	47"
女	649,714	633,015	16,699	10.2	9.9	49"	50"
(再掲) 乳児死亡	1,761	1,928	-167	1.9	2.0	298'28"	273'22"
新生児死亡	832	874	-42	0.9	0.9	631'44"	603'01"
自 然 増 減	-394,332	-330,770	-63,562	-3.2	-2.6
死 産	20,358	20,934	-576	21.1	21.0	25'49"	25'11"
自然死産	9,738	10,067	-329	10.1	10.1	53'58"	52'21"
人工死産	10,620	10,867	-247	11.0	10.9	49'29"	48'30"
周産期死亡	3,308	3,516	-208	3.5	3.6	158'53"	149'54"
妊娠満22週以後の死産	2,683	2,840	-157	2.8	2.9	195'54"	185'35"
早期新生児死亡	625	676	-51	0.7	0.7	840'58"	779'39"
婚 姻	606,866	620,531	-13,665	4.9	5.0	52"	51"
離 婚	212,262	216,798	-4,536	1.70	1.73	2'29"	2'26"

	平成29年	平成28年
合計特殊出生率 2)	1.43	1.44
年齢調整死亡率 3) 男	4.7	4.8
女	2.5	2.5

- 注:1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 2) 合計特殊出生率とは、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
- 3) 年齢調整死亡率（人口千対）は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標である。